

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【商工観光部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。 	<p>山車につきましては、市内一円を巡行するため、一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり、大型の山車運行については、これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから、観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。 (建設部道路管理課)</p>
<p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。 	<p>住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。</p> <p>また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や平成26年度における滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。 (建設部建築住宅課)</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 日戸柴沢線の常光寺より先の拡幅整備、また日の出橋の前後の道路整備を実施されたい。 	<p>※ 玉山総合事務所で回答</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道津志田白沢線の矢巾町境からの道路建設を促進されたい。各種計画への位置づけや連携中枢拠点都市としての基幹事業として位置づけられたい。 	<p>市計画道路津志田白沢線につきましては、国道4号と連絡するネットワークを形成するよう、接続する東西方向の道路と一体となった整備に取り組んでおります。事業区間は、都南文化会館南側から南側約300m区間で、平成22年度から事業に着手しており、現在は、事業区間南側の用地交渉を進めているところでございます。また、本路線は市と矢巾町を結ぶ主要な道路の一つと存じておりますことから、連携中枢都市圏形成のネットワークの</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>P 9</p> <p>・ 中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。</p>	<p>強化を図る取組みとして位置づけを行いながら、南側の未着手の区間の整備について、現在着手している区間の進捗状況等を踏まえ、都市計画道路整備プログラムの見直しにおいて、検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケット等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。</p> <p>今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p>P 9</p> <p>・ 田沢湖線前潟駅の着工をされたい。</p>	<p>田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度にJR東日本に基本計画調査を委託し、新駅設置の適地との調査結果を得ておりますが、開業設備費を含めた総事業費が多額となり、事業費の確保が課題となっていることから、課題解決に向けて引続きJR東日本のほか関係機関等と協議してまいりたいと存じます。また、平成28年度は、事業効果の検証を行っているところであり、総合交通施策懇話会での御意見を踏まえながら、事業の妥当性について検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p>P 9</p> <p>・ IGR下田駅の早期着工を図られたい。</p>	<p>IGR下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。</p> <p>今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p>P 9</p> <p>・ 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られたい。</p>	<p>岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取組として市総合交通計画に新駅設置の可能性の検討を位置付けておりますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等を</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山田線の社会実験を成功されたい。また、宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。 	<p>踏まえながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>JR東日本盛岡支社と市が連携して取り組んでいる山田線の社会実験につきましては、目標としていた1日あたり増加乗車人員数200人を達成することができなかったため、平成29年3月をもって社会実験を終了する予定となっております。これに伴い、盛岡・上米内間の平日の夕方・夜の時間帯に上下2本、合計4本増発されていた列車は、平成29年次期ダイヤ改正をもって廃止される予定となっております。</p> <p>一方、今後につきましては、社会実験を通じて結成された「JR山田線ファンクラブ」などの地域でのマイレール運動の支援を継続し、山田線の利用促進に結び付けていきたいと存じます。</p> <p>また、活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、庁内関係機関と連携し、機会を捉えながらJR東日本に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北本線の活性化（IGRと相互乗り入れ）や701系電車に転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。 	<p>相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。</p> <p>また、転換クロスシートにつきましては、JR東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IGRの車両更新には、転換クロスシートの導入を促されたい。 	<p>IGRの車両更新時における転換クロスシートの導入につきましては、今後の「IGRいわて銀河鉄道利用促進協議会」等において、IGRに要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙北町駅橋上化の早期実現 	<p>仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やJR東日本との費用負担等の課題もあり、引き続きJR東日本と相談してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭隘道路の改良の促進 	<p>幅員が4m未満の市道につきましては、地元が主体となって進める、「狭あい市道整備 促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度ですので、活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型バス導入できめ細やかなバス路線の開設を図りたい。原則すべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者を表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。 	<p>小型バス導入につきましては、道路が狭隘な地域では、小型バスの導入は有効な手段の一つと考えられますが、乗客を乗せきれない可能性があることや、運転手不足が続いている理由から導入は難しいとバス事業者から伺っております。</p> <p>また、ベンチの設置につきましては、設置空間の確保の課題もありますことから、バス停上屋と合せての設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいります。現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共地下道にナンバリングをされたい（仙北地下道など）。 	<p>仙北地下道につきましては、管理者である盛岡広域振興局の道路環境課へご要望をお伝えし、ナンバリング等の案内標示の検討をお願いしております。また、市管理の地下道につきましては、今年度整備を行っております盛岡駅前地下道の案内標示と統一性をもった標示とすることを検討しており、現地調査を実施しながら、案内が不足していると判断される箇所につきましては、設置の検討をしてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p>
<p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。 	<p>国道46号線は、地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており、岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため、これまでも国に対し早期整備を要望している</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン30の計画的な導入を促進されたい。 <p>【上下水道局関係】</p>	<p>とあります。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて、機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>※ 市民部で回答</p>
<p style="text-align: right;">P 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備を促進や内水処理対策を示されたい。 	<p>急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策と併せ、市といたしましても、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行うとともに、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、区域指定された箇所ごとの土砂災害ハザードマップの作成及び配布を行い、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めて参ります。</p> <p>また、洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく河川整備事業や、四十四田ダムと御所ダムの連携した操作、河川の適正な維持管理を行っていると同っております。</p> <p>岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川などの河川改修等の事業を実施しており、北上川（県管理区間）及び松川につきましては、盛岡北圏域の河川整備計画が平成27年9月に認可され、平成27年度より事業に着手し、整備を進めているところでございます。</p> <p>市といたしましても、国や県と連携しながら、河川整備計画に併せて内水対策を検討するとともに、定期的なパトロールによる状況把握や市民からのご要望を踏まえながら、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川の洪水対策に取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成29年度予算要望への回答

団体名：市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 松川の安全対策を講じられたい。 	<p>松川の安全対策につきましては、県において平成27年9月に認可された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき整備されることとされており、平成27年度より事業に着手しているところでございます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p>